

日本の文化展示「祭り」と芸能」「日々の暮らし」が新しくオープン
みんなくでは、全ての展示場を順次、刷新していく計画をすすめています。このたび、本館展示場「日本の文化」展示の一部が3月22日(金)に新しくなりました。みんなくで日本を再発見してください。

特別展

「マダガスカル 霧の森のくらし」

会期 6月11日(火)まで
会場 特別展示館1階

関連イベント

◆みんなく映画会
「文化とはなにか——マダガスカルの生活文化、マダガスカルの音楽文化」

▼5月11日(土)「ザフィマニリススタイルのゆくえ」

本館の川瀬慈助教の監督作品。ザフィマニリのくらしが変化するなか、無形文化遺産のものづくりがどうなるかを考えます。
時間 13時～15時(開場 12時30分)

▼5月25日(土)「ギターマダガスカル」
亀井岳氏の監督作品。故郷へ旅するギタリストを追い、生活に深く根ざしたマダガスカルの音楽文化を紹介いたします。劇場公開前作品の貴重な試写会です。
時間 13時～16時(開場 12時30分)
以上映画会の開催場所 講堂(先着450名)
※当日10時から講堂入り口にて整理券を配布
※申込不要、参加無料

◆ワークショップ(要展示観覧料)
「ザフィマニリの家壁文様を彫ろう」
※毎日開催、当日受付、参加無料

「ザフィマニリの文様を編もう」
※毎日開催、当日受付、参加無料

「ザフィマニリの敷物を編もう」
4月1日(月)、15日(月)、
5月3日(金・祝)、20日(月)、31日(金)、
6月11日(火)
時間 14時～16時30分
(おはなしの時間15時～15時30分)

◆ミニレクチャー(要展示観覧料)
※毎週月曜日開催(予定)、自由参加
参加無料

◆みんなくセミナー
左のページをご覧ください。

◆みんなくウィークエンド・サロン
詳細は本誌24ページをご覧ください。

企画展
「アリラン——The Soul of Korea」

韓国国立民俗博物館で2012年に開催された「アリラン展」が世界を巡回します。その最初の展示を大阪にある本館で開催します。
会期 5月2日(木)～6月11日(火)
会場 企画展示場B

「アマゾンの生き物文化」(仮称)
サルや鳥などをペットにして飼い慣らすなど、地球最大の熱帯林を持つアマゾンと人とのかわりを紹介します。
会期 5月23日(木)～8月13日(火)
会場 企画展示場A

体験プログラム
「賢女文化にさわる」

盲目の旅芸人である賢女の歴史や役割について、秋山郷の復元民家内で実際に資料にさわったり、賢女唄を聴くことにより理解を深めます。
日時 4月27日(土) 13時30分～14時30分、
15時～16時(受付13時から)

会場 日本の文化展示 秋山郷の復元民家内
※当日先着順、各回定員8名(予定)
参加無料(要展示観覧料)
※本プログラムは4月から7月まで、
毎月第4土曜日に開催します。

みんなく映画会「みんなくワールドシネマ」

2013年度のワールドシネマは、「家族のゆくえ」に焦点をあてています。映画に描かれた姿をおとして、家族のありかたを考えましょう。
「私の中のあなた」
日時 5月12日(日) 13時30分～16時30分
(開場13時)

会場 講堂(先着450名)
※申込不要、参加無料

※当日10時から講堂入り口にて整理券を配布

●みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)
新規メンバー募集

みんなくミュージアムパートナーズは、観覧者にみんなくをより楽しんでもらうために自主的な企画を運営する市民パートナーです。現在、9月から活動する新しい仲間を募集中です。
応募期間 5月10日(金)まで(50名程度)

みんなくセミナー

会場 国立民族学博物館 講堂

時間 13時30分～15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)

参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)

第419回 4月20日(土)

特別展関連

マダガスカル 霧の森のものづくり



身近な森から伐りだした木の家、その窓にはどこぞの何学的な木彫り、植物繊維から編みだされるさまざまな意匠。マダガスカル山間部のくらしに息づいてきたものづくりは、こんにち国際的な評価を受けるようになりまし。次世代に受け継ぐべきものは何か、われわれができる支援は何かを考えます。

第420回 5月18日(土)

特別展関連

マダガスカル 霧の森にくらすひと



日本のマスメディアからは「秘境」と呼ばれるマダガスカル。そこにくらすザフィマニリの人たちは、山々によって外の世界から隔離され、自然のリズムにあわせて生活をとんできたようにみえます。でも、彼らの知識がユネスコ無形文化遺産に指定されていることかわかるように、静けさはくらしの一面にしかすぎません。未来をみえつつ、霧の森の現在をお話します。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録必須)

第419回 5月4日(土) 14時～15時
マケドニアの陶器と食文化

講師 ゴルダン・ニコロフ(国立民族学博物館外国人研究員)

マケドニアの伝統的な陶器作りについて映像を用いて紹介します。その中からとくに、結婚式と墓参りで用いられる二つの儀礼用の酒壺について解説します(通訳あり)。
※講演会終了後にはゴルダンさんお手製のマケドニア料理を味わいます。

第420回 6月1日(土) 14時～15時
金曜日にはムジャツダラの日

アラビア語圏キリスト教徒のくらし

講師 菅瀬晶子(国立民族学博物館 助教)

『季刊民族学』143号でご紹介したシャーム地方の家庭料理、ムジャツダラを味わいながら、金曜日に菜食を实践する彼らのくらしやアイデンティティについて、お話しします。食文化がもつ、国境や宗教をこえる力や可能性についても考えてみましょう。

東京講演会

会場 モンベル渋谷店5Fサロン

定員 70名(要申込) ※今回は一般の方も参加可能です。
第106回 6月30日(日) 14時～15時30分

トウバ人たちの住むところ——21世紀の「探検」談

講師 小長谷有紀(国立民族学博物館 教授)

第82回民族学研修の旅

マダガスカルと海を訪ねる
——サンクロクス街道をゆく
7月9日(火)～20日(土) 12日間
特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」の舞台となったザフィマニリ村を訪ねます。詳細は上記友の会まで。

お問い合わせ先
みんなくミュージアムパートナーズ事務局
新規募集係(国立民族学博物館 社会連携室内)
E-mail mmp-jimukyoku@dc.minpak.ac.jp
FAX 06-6878-8256

●無料観覧日のお知らせ
5月5日(日・祝)のごものは、特別展本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園を通行される場合は、入園料が必要ですよ。

※イベントや刊行物について、くわしくはホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は9時から17時(土日祝を除く)です。

刊行物紹介

■柄木田康之・須藤健一 編
『オセアニアと公共圏——フィールドワークからみた重層性』
昭和堂 定価：4,200円

■竹沢尚一郎 著
『被災後を生きる——吉里吉里・大槌・釜石奮闘記』
中央公論新社 定価：1,680円

東日本大震災の被災地の1つ、岩手県大槌町と釜石市で、8ヶ月にわたって人々と共に暮らしながらおこなった観察とインタビューの記録。

太平洋島嶼国において、国家と共同体の間でできる多様な社会集団や人びとの集まりを公共圏として分析。現地での多文化的公共圏とNGO等の市民組織の関係をとらえ、新興国における市民社会の欠如というテーマに疑問を投げかける。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

特別展オリジナルグッズ

いま開催中の特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」のオリジナルグッズをご紹介します。
まずは、クリアファイルと二筆箋です。マダガスカルの森をイメージした緑をバックに、ザフィマニリ手づくりのかわいい帽子が5つ並んでいます。一筆箋は1冊のなかに、5つの帽子にあわせて5種類の箋が楽しめます。気分によって使い分けてください。

もうひとつはスタンプです。ザフィマニリの木彫りの文様と、マダガスカルの言語をデザインしたものがあります。言語のスタンプは、Misaotra(ありがとう)とSaialama(こんにちわ)の2種類があります。

特別展示場内のショップでは、オリジナルグッズや図録(解説書)にクわえ、いろいろなマダガスカルの商品を販売しています。展示をご覧になった後は是非お立ち寄りください。みなさまのご来店をお待ちしております。



特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」図録
『霧の森の叡智——マダガスカル、無形文化遺産のものづくり』(B4変形判 148頁) 1,955円
クリアファイル 350円
一筆箋 380円
スタンプ(文様)1種類 500円
スタンプ(言語)2種類 各420円

価格はすべて税込